

N O R M A L I Z A T I O N F O R

N E X T S O C I E T Y

地域精神医療誌・フレンドシップ
企画編集 NOVA出版

ハピネス 城西



フレンドシップインタビュー

日本の未来のために子どもたちに
最善を尽くせる社会

山崎晃資

VOL. **4** 2005

第1巻(第1号)より

♪ デイケア「ほっとリビング」♪

こんにちは！ デイケア「ほっとリビング」です。デイケアは、通院治療の方の為の治療の一つです。規則正しい生活リズムを身につけたい、自分に自信をつけたい、人と上手に付き合いたい、悩みなどを相談する人がほしい、学校や仕事復帰をめざしたい等、様々な目的を持った方が通所されています。

スタッフは、看護師、臨床心理士、作業療法士が対応します。午前9時～午後3時までデイケアのプログラムを共に行い、楽しむ中で、皆さんの抱える悩みについて一緒に考えていき、出来るだけ皆さんの希望が叶えられるよう協力していきたいという思いで取り組んでいます。

デイケアについての、ご質問・ご相談は主治医又はデイケアスタッフまで、お気軽にご相談下さい。

(デイケア所長 岩佐五月)

● ある月のデイケア月間予定 ●

日	月	火	水	木	金	土
上段:午前のプログラム 下段:午後のプログラム		1 映画鑑賞 ソフトバレー	2 料理計画 ボウリング	3	4 12月の計画 自主活動	5
6	7 はてなの会 料理実習	8 料理 散歩	9 料理 書道	10 料理 保健展	11 料理 新聞制作	12
13	14 リラクゼーション おやつクラブ	15 ビデオレンタル 絵手紙	16 ソフトバレー 書道	17 はじめてクラブ 新聞制作	18 みかん狩り	19
20	21 はてなの会 わくわくクラブ	22 読書会 ウイニング	23	24 自主活動 ディスカッション	25 外食しよう 新聞制作	26
27	28 絵手紙 サイクリング	29 はじめてクラブ カラオケ	30 リラクゼーション 新聞制作			
※月間予定は毎月メンバー様とスタッフで決めています						

プログラムの紹介（メンバー様の主体性を大切にしています。プログラム参加は自由です。）

はてなの会…病気や薬のことについて学習し合う心理教育です。

新聞制作…自分の作品などを貼付して毎月病院外来にデイケア壁新聞を掲示しています。

リラクゼーション…ストレッチを中心にを行い、心と身体のリラックスをしています。

はじめてクラブ…手工芸等の好きなことをしながら、自分の体調や調子を確認し、その日の作業の仕方を自分で調整して行う、セルフコントロールを目的にしています。

わくわくクラブ…公共交通機関を利用して喫茶店に行き、雰囲気を楽しむ、くつろいでいます。

外食しよう…食堂やレストランに昼食に行き、マナーを勉強したり雰囲気を楽しんでます。

行事…月1回気分転換や社会見学の目的で1日外出をしています。今回はみかん狩りです。

自主活動…決まったプログラムはなく、卓球・麻雀・塗り絵・テレビ鑑賞等をして自由に過ごしています。

ハピネス城西

あなたが主役

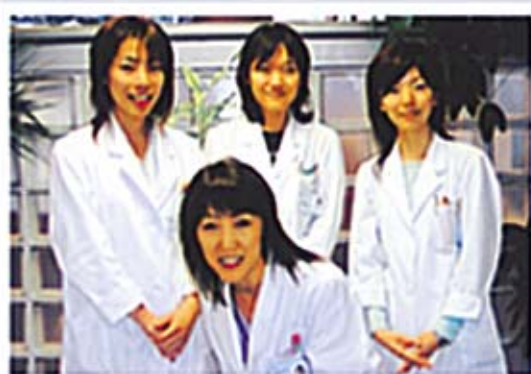


2A病棟は、主として急性期の集中した治療が必要な新規入院患者様を受け入れる病棟です。入院が決まると、主治医を中心としたチームスタッフによるカンファレンスを行い、治療期間や治療方針等が検討されます。看護方針としては、多種多様な症状を持つ患者様の安全確保を第一とし、温かい気持ちで接することによって不安を緩和できるよう努力しています。また、早期退院に向けて、必要以上の介助はやめ、自立への援助となるよう個別看護を心がけています。

(病棟看護師長 藤川秀郎)

城西病院 スタッフ紹介

2B病棟は、男性は開放、女性は閉鎖の療養病棟です。慢性期の患者様が安心して療養生活が送れるよう、安全で快適な空間を提供し、コメディカルの協力を得て色々な治療プログラムを進め生活リズムを取り戻せるよう工夫をしています。病棟目標としては、①「患者様の意見を尊重した看護を提供する。」②「家族との連絡を多くし、社会復帰を支援する。」③「OT参加により、生活を豊かにする。」の3つを掲げ、個別的看護を心がけています。療養生活の中で、わからないこと、不安なことがあれば、ご遠慮なくスタッフにお尋ね下さい。(病棟看護師長 上原俊明)



相談室は、現在精神保健福祉士が4名在籍し、担当病棟での相談援助業務や、交代で外来係を行っています。

外来患者様の相談に応じる他、入院の際には、手続きから退院までご本人やご家族と接することになります。DrやNs、他のコメディカルスタッフと共にチームケアの一員として集団精神療法やSSTにも参画し、「心と体の健康教室」の企画・開催、情報誌「ハピネス城西」や年報の編集・作成などにも取り組んでいます。日頃の生活や社会復帰についても気軽に相談室をご利用ください。

(相談室所長 森真弓)